


平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

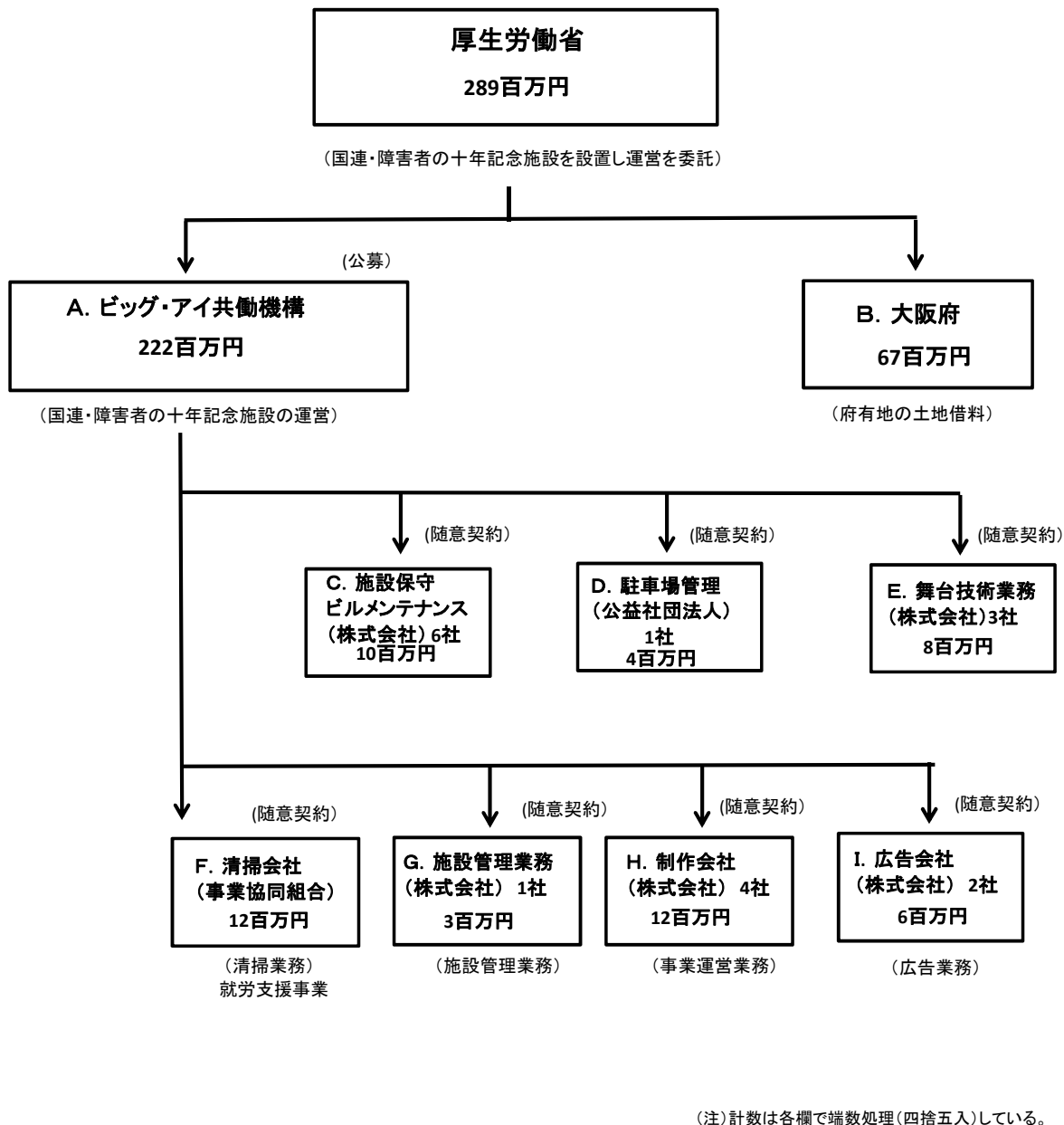
<b>事業名</b>	国連・障害者の十年記念施設運営等			<b>担当部局庁</b>	社会・援護局 障害保健福祉部			<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	平成13年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	平成31年度	<b>担当課室</b>	自立支援振興室			道躰 正成	
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	VIII-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	-			<b>関係する計画、通知等</b>	平成13年6月27日障発第268号障害保健福祉部長通知「国際障害者交流センターの運営について」				
<b>主要政策・施策</b>	障害者施策			<b>主要経費</b>	社会保障				
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	国が設置する国連・障害者の十年記念施設を円滑、適正に運営し、本施設の有する障害者の国際交流機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、芸術・文化の発信機能、大規模災害時の後方支援機能を十分活用した諸事業を実施することによって、障害者の社会参加を促進することを目的とする。								
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	ビック・アイ共働機構に対して、国連・障害者の十年記念施設の運営及び障害者の国際交流機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、芸術・文化の発信機能、大規模災害時の後方支援機能を十分活用した諸事業(①災害支援ボランティアリーダー養成研修事業、②災害時リーダー養成研修・実践的救援訓練事業(視覚障がい者向け)、③障害関係福祉情報提供事業、④障害者芸術・文化活動支援事業、⑤国際交流事業)を実施するのに必要な委託費の交付及び大阪府に対する土地借料の支払い。								
<b>実施方法</b>	委託・請負								
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算の状況	当初予算	331	316	296	277	271		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	331	316	296	277	271		
	執行額	322	311	289					
執行率(%)	97%	98%	98%						
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 31年度	
	平成31年度に災害支援ボランティアリーダー養成研修事業の修了者数を80人まで引き上げる	災害支援ボランティアリーダー養成研修事業の修了者数	成果実績	人	138	56	62		
			目標値	人	200	80	80	80	
			達成度	%	69%	70%	78%		
引き続き平成31年度に災害時リーダー養成研修・実践的救援訓練事業の修了者数の目標値を達成する	災害時リーダー養成研修・実践的救援訓練事業の修了者数	成果実績	人	157	123	91			
		目標値	人	200	80	80	80		
		達成度	%	79%	154%	114%			
		目標最終年度 31年度							
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	災害ボランティアリーダー養成研修事業の実施回数	活動実績	回	2	1	1			
		当初見込み	回	2	1	1	1		
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	災害時リーダー養成研修・実践的救援訓練事業の実施回数	活動実績	回	2	2	2			
		当初見込み	回	2	2	2	2		
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	すべての障害者の交流(地域との交流の場の提供や共生社会に資する人材育成)	活動実績	人	1,521	1,936	931			
		当初見込み	人	-	-	-	-		
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	障害者芸術・文化活動の参加者(障害者コンサートやバリアフリー映画の開催)	活動実績	人	10,896	10,138	21,315			
		当初見込み	人	-	-	-	-		
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	国際交流・協力事業	活動実績	人	1,408	1,111	2,021			
		当初見込み	人	-	-	-	-		

単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	単位当たりコスト	計算式					
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	(円/人) X:「災害支援ボランティアリーダー養成研修事業費」 Y:「参加者数」	計算式	円	8,538	29,690	6,383	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	(円/人) X:「災害時リーダー養成研修・実践的救援訓練事業」 Y:「参加者数」	計算式	円	5,192	8,328	10,244	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	(円/人) X:「すべての障害者の交流事業費」 Y:「利用者数」	計算式	円	2,295	1,848	1,449	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	(円/人) X:「障害者の芸術文化事業費」 Y:「参加者数」	計算式	円	2,193	2,429	995	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	(円/人) X:「国際交流・協力事業費」 Y:「参加者数」	計算式	円	5,588	12,481	10,518	-
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由			
	国連・障害者の十年記念施設運営委託費	207	207	「新しい日本のための優先課題推進枠」21 大阪府公有財産台帳価格の改定等に伴う減 工事内容による減			
土地借料	66	63					
各所修繕	4	1					
計	277	271					

事業所管部局による点検・改善			
項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	障害者基本法第11条に基づき政府が定める障害者基本計画に「障害の有無にかかわらず、文化芸術活動を行うことのできる環境づくりに取り組む」「文化芸術活動、スポーツ等の分野における障害者の国際的な交流を支援する」と明記されており、障害者の国際交流機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、芸術・文化の発信機能、大規模災害時の後方支援機能を十分活用した諸事業を実施することによって、障害者の社会参加を促進するため、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国連・障害者の十年記念施設は、障害者の国際交流機能、重度重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、障害者の芸術・文化発信機能等を有する施設である。そのため、その施設の円滑、適正な運営とその機能を十分に活用した事業は障害者の社会参加の促進に資するものであり、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	障害者の国際交流機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、芸術・文化の発信機能、大規模災害時の後方支援機能を十分活用した諸事業を実施し、障害者の社会参加を促進するために必要であることから、優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	障害者福祉に理解があり、本施設の運営に意欲がある法人その他の団体であること、その他公募要領に記載した資格要件を満たすことを条件とした公募を実施。提出された応募申請書類を基に、外部有識者による評価委員会が審査基準に基づき審査している。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	外部有識者からなる「国際障害者交流センター経営委員会」を設置し、事業内容等が適切かどうかの審査を毎年実施しており、施設運営の効率化を図っているところである。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	施設管理や各事業の実施に必要な範囲で、実績のある事業者等を委託先として選定し支出している。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	施設の管理に必要な経費及び各事業の実施に必要な経費のみが計上され、適切に事業が実施されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	○	外部有識者からなる「国際障害者交流センター経営委員会」を設置し、事業内容等が適切かどうかの審査を毎年実施しており、施設運営の効率化を図っているところである。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	○	災害時リーダー養成研修・実践的救援訓練事業の修了者数について目標値を上回る成果実績となっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業に実績のある団体へ運営等を委託することより、障害者の社会参加の促進に寄与している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	年度ごとに事業目的に基づく事業計画を策定しており、活動実績もこれに見合ったものになっている。
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	「国連・障害者の十年」を記念する施設として、国際交流・国際協力機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、芸術文化の発信機能、大規模災害時の後方支援機能の4つの機能を発揮し、障害者の社会参加に貢献している。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果		国が設置した施設の維持費及び障害者の社会参加を促進するための各種事業を行うための委託費等であるが、年度ごとに事業目的に基づく事業計画を策定しており、活動実績もこれに沿ったものとなっている。運営の効率化、多目的ホールや宿泊施設等の利用率の向上が課題となっていたが、平成21年11月の行政刷新会議の事業仕分けにおいて、委託先の変更、施設運営の効率化を図ることとされた。平成23年度予算において維持管理費・事業費を0.2億円削減するとともに、新たな委託先を選定し、事業運営の効率化を図っているところである。また、外部有識者からなる「国際障害者交流センター経営委員会」を設置し、事業内容等が適切かどうかの審査を毎年実施している。
	改善の方向性		国連・障害者の十年記念施設の運営に関する基本方針、予算計画、職務の執行を監督すると共に、ピック・アイ共働機構に対して、安定的かつ継続的な運営ができるよう指導することを目的として、外部有識者からなる「国際障害者交流センター経営委員会」を設置し、事業内容等が適切かどうかの審査を毎年実施しているところであり、引き続き、事業の適性実施を図る。
外部有識者の所見			
運営団体以下の支出先が随意契約となっている。競争性の確保が必要と考えられる。(横田)			
行政事業レビュー推進チームの所見			

<p>事業内容の一部改善</p>	<p>外部有識者の指摘を踏まえ、運営団体以下の支出先について、競争性の確保に努めること。</p>				
<p>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</p>					
<p>執行等改善</p>	<p>運営団体以下の支出については、障害者雇用を図るための発注や、少額であるため競争契約に馴染まないものが含まれている。一方、国においては、一定額以上の契約について、競争性の確保に努めるため、原則として入札としていることから、当該委託団体においてもその取扱いに準じた契約方式とするよう検討してまいりたい。</p>				
<p>備考</p>					
<p>関連する過去のレビューシートの事業番号</p>					
<p>平成22年度</p>	<p>509</p>	<p>平成23年度</p>	<p>402</p>	<p>平成24年度</p>	<p>405</p>
<p>平成25年度</p>	<p>764</p>	<p>平成26年度</p>	<p>762</p>		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



(注) 計数は各欄で端数処理(四捨五入)している。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

A.ビッグ・アイ共働機構			E.株式会社 G		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
需用費	光熱水費、建物維持費、消耗品費等	75	人件費	舞台運営業務要員	7
委託料	施設管理保守業務等	48			
人件費	非常勤職員給与等	28			
人件費	職員給料	25			
使用量及び賃借料	情報機器リース料	15			
役務費	通信運搬費、雑役務費	14			
諸謝金	講師謝金・出演料	11			
その他	旅費、備品購入費等	6			
計		222	計		7

B.大阪府			F.事業協同組合 A		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
土地借料	府有地の借り上げ料	67	人件費	職員給与	9
			その他	清掃用具、洗剤等	3
計		67	計		12
C.株式会社 A			G. 株式会社 J		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
建物維持	火災報知器 定期点検 保守業務	3	人件費	施設管理業務要員	3
計		3	計		3
D.公益社団法人 A			H.株式会社 K		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	駐車上管理・整理業務要員	4	役員費	制作管理費	5
			人件費	制作・運営人件費	3
			その他	調整業務費	1
計		4	計		9

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載  チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ビッグ・アイ共働機構	国連・障害者の十年記念施設の運営	222	-	-

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪府	土地借料	67	-	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社A	自動火災報知器点検保守業務	3	随意契約	-
2	株式会社B	エレベーター点検保守業務	2	随意契約	-
3	株式会社C	中性能フィルター取替業務・宿泊室等排水管清掃業務	2	随意契約	-
4	株式会社D	自動ドア点検保守業務	1	随意契約	-
5	株式会社E	消防設備点検保守業務	1	随意契約	-
6	株式会社F	浄水槽清掃水質検査等保守点検業務	0.5	随意契約	-

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益社団法人A	駐車場管理・整理業務	4	随意契約	-

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社G	舞台運営・管理保守業務	7	随意契約	-
2	株式会社H	照明器具等 保守点検業務	1	随意契約	-
3	株式会社I	音響・映像設備 保守点検業務	1	随意契約	-

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	事業協同組合A	清掃業務	12	随意契約	-

G

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社J	施設管理業務要員	3	随意契約	-

H

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社K	イベント制作・運営業務	9	随意契約	-
2	株式会社L	イベント制作・運営業務	8	随意契約	-
3	株式会社M	イベント制作・運営業務	1	随意契約	-
4	株式会社N	イベント制作・運営業務	1	随意契約	-
支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載			<input checked="" type="checkbox"/> チェック		

別紙2

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	I.株式会社 ○			M.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	需用費	印刷業務	2			
	役務費	企画・原稿作成・取材	1			
	計		3	計		0



## 別紙3

I

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社O	情報誌制作印刷業務	3	随意契約	-
2	株式会社P	応募要綱制作印刷業務	2	随意契約	-
3	株式会社Q	その他印刷業務	1	随意契約	-